

立秋（りっしゅう）



8月8日頃（2025年は8月7日）。および**処暑**までの期間。

太陽黄径135度。

大暑から数えて15日目ごろ。

朝夕が涼しくなり、秋の気配が立つころ。

立春からちょうど半年が経過し、この日から**立冬**の前日までが秋。暦の上では秋になりますが、日中はまだ残暑が厳しく1年で最も気温が高くなる時期です。

この頃は、月遅れの**お盆**を前に各地で夏祭りが開催されます。

まだまだ夏のレジャーを楽しむ頃ですが、よく観察してみると秋の気配を感じることができます。夏の風と秋の涼やかな風が混在し始めます。空を見上げると、巻雲など秋の雲も見えますよ。

この日から、残暑見舞いになります。 ※残暑が厳しくても、出すのは**処暑**までに。

梅雨明け宣言は立秋まで

気象庁では、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに、梅雨入りと梅雨明けを「梅雨の時期に関する気象情報」として発表しています。いわゆる「梅雨入り宣言」「梅雨明け宣言」ですが、長梅雨で**立秋**までに明けない場合「梅雨明け宣言」はされません。「梅雨明けなし」となるのかしら？

季節の言葉

◆ 残暑（ざんしょ）

立秋から**秋分**までの暑さのこと。